

## IV 令和4年度普通会計の決算状況

普通会計とは、地方公共団体の財政状況の把握や財政比較等のため、統計上統一的に用いられる会計単位で、公営事業会計以外の会計を一つの会計としてまとめたものです。

算出にあたっては、一般会計と、公営事業会計に属さない特別会計を合算しますが、単純に合計するだけでは会計間の重複(相互間または他会計とのやりとり)により財政規模が実際より大きくなるため、この重複部分を控除して正味の決算額(純計決算額)に調整しています。

本市では、一般会計及び公共用地造成事業会計をまとめて普通会計とし、上記の調整を行い純計決算額を算出しています。

### 1 普通会計決算規模及び決算収支

令和4年度の普通会計決算額は、歳入755億1834万3千円、歳出728億5604万3千円となり、前年度に比べ、歳入90億938万3千円(伸率△10.7%)、歳出90億1242万5千円(伸率△11.0%)がそれぞれ減少しました。

この結果、歳入歳出差引額(形式収支)は、26億6230万円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源7億1845万円を控除した実質収支は、19億4385万円となりました。

なお、実質収支(剰余金)は、その1/2以上を財政調整基金に積み立てるなど次年度以降の財源調整に活用しています。

第9表 普通会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	令和4年度 a	令和3年度 b	比 較	
			a-b	a/b×100
歳 入 総 額 A	75,518,343	84,527,726	△9,009,383	89.3%
歳 出 総 額 B	72,856,043	81,868,468	△9,012,425	89.0%
歳入歳出差引額 (A-B) C	2,662,300	2,659,258	3,042	100.1%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	718,450	390,287	328,163	184.1%
実 質 収 支 (C-D) E	1,943,850	2,268,971	△325,121	85.7%
単年度収支 (E-前年度E) F	△325,121	723,365	△1,048,486	-
財政調整基金積立金 G	1,464,892	3,130,342	△1,665,450	46.8%
"  取崩額 H	1,475,960	773,159	702,801	190.9%
市債繰上償還金 I	239,109	524,307	△285,198	45.6%
実質単年度収支 (F+G-H+I) J	△97,080	3,604,855	△3,701,935	-